

一般社団法人日本生物診断研究会

Japanese Society for Biological Diagnosis (略称JSBD)

【活動レポート】

2023年12月15日

(一社)日本生物診断研究会事務局

第5回日本生物診断研究会年次大会を開催いたしました

一般社団法人日本生物診断研究会（代表理事：瀬戸泰之(東京大学 消化管外科学 教授)、以下当会）は、12月5日(火)に第5回日本生物診断研究会年次大会を開催いたしました。今回はテーマを「越境！」としました。趣向を変え日本大学通信教育部の協力をいただき、キャンパス建物内の1フロアを貸し切って実施しました。参加の皆様からも学びの場で開催することは意義深いということで評価をいただきました。新しい取り組みとして研究会前段に、近隣の大学と連携し学生の皆さんにも参加いただける特別企画を開催しました。全体の開催概要は以下の通りです。

<年次大会 概要>

日時：2023年12月5日（火） 16:30~20:30

会場：日本大学通信教育部 1号館8階（東京都千代田区九段南4-8-28）

参加者：90名（ZOOM30名、現地参加60名）

特別企画 「越境！！私たちの未来を考える！」

~SDGsと「線虫」「嗅覚・味覚」「がんと栄養」を手掛かりに~

・講義

「線虫とは」	HIROTSUバイオサイエンス プロジェクトマネージャ	間瀬 慶子
「嗅覚・味覚」	東京家政学院大学 准教授	城田 直子
「がんと栄養」	東京家政学院大学 講師	腰本 さおり

・議論／ワーク 「SDGs目標の分類と検討」



SDGsの目標を分野ごとに分類する様子

一般社団法人日本生物診断研究会

Japanese Society for Biological Diagnosis (略称JSBD)

日本生物診断研究会年次大会(本会)「テーマ：越境！」

一般口演①：座長 原田 良信

- 北海道大学 電子科学研究所 准教授 佐藤 勝彦
「*C.elegans* の電場の下での高速ジャンプ」
- 電気通信大学 大学院情報理工学研究科 特任助教 北田 昇雄
「生体内深部を観察可能な近赤外イメージング材料」
- ボールウェーブ株式会社 経営戦略本部長 塚原 祐輔
「ボール SAW センサによる呼気・皮膚ガスなどを用いた次世代体外診断の開発」

一般口演②：座長 Eric di Luccio

- HIROTSU バイオサイエンス Ungkulpasvich Umbhorn
Early-stage pancreatic cancer-specific detection using *C. elegans*
- HIROTSU バイオサイエンス Aya Hasan Ibrahim Alshammari
C. elegans in the frontline: A Tiny Powerhouse in Precision Medicine and Global Health Innovation

招待講演：座長 松本 公一

- 田中医療創造研究所 京都大学名誉教授 田中 紘一
「肝がん・転移性肝がんに対する移植における N-NOSE 検査の考察」



招待講演の田中紘一先生と座長の松本公一先生

■■■ 本件に関するお問い合わせ ■■■

一般社団法人日本生物診断研究会

事務局 HIROTSU バイオサイエンス

担当：清野 k.seino@hbio.jp